かきた"よし)

社会福祉法人みらい





🥏 今月号の写真 『利用者の命を守る取組み』

昨年の秋、静岡県の保育園で園児がバスに取り残され命を落とした ニュースは皆様の記憶に新しいと思います。同じような事故が全国で発 生し、尊い命が失われてしまうのはとても残念で悲しいことです。

社会福祉法人みらいは、利用者様の命を守る取組みとして、送迎バス の降車確認を実施しています。写真のように最後部座席に降車チェック 表が置かれており、バスの運転職員は毎日、運転席から最後部座席まで 全ての座席を確認しながらチェック表を取りに行きます。この方法なら 誰かが寝過ごしてしまっていても、ちゃんと見つけられます。皆さんの 命を守る大切な取り組みです。





「第4回けやき可児祭り」を開催しました

9月10日にけやき可児事業所にて 「けやき可児祭り」を開催致しまし た。



会場では感染予防対策を行い、屋 外での食事も楽しんでいただけまし た。「未来にはばたけ」というテー マで開催した祭り当日は、天候に恵 まれ、少し暑いくらいでしたが、開 会式には可児市の冨田市長も駆けつ けて下さり、模擬店では保護者会の



焼きそばやちらし寿司、カフェの特製ドリンクを楽しむ来場者の皆様の姿が見られました。



その他、射的やお菓子釣り、プラバンのブースでは、お子様と一緒にご家族で参加されており、なかでも射的は何度も挑戦される方がたくさんおられ、とても盛り上がりました。

今年は久しぶりの可児祭りを楽し お方だけでなく、初めて来場された 方も多くいらっしゃいました。地域 の皆様に「けやき可児」を知って頂 ける良い機会になり、大変うれしく 感じます。今後はけやきカフェして がひお立ち寄り下さい。お待ちして おります。

また、けやき可児祭りの開催にあ たり、沢山の方々にご協力いただき、 無事に開催することができました。

誠にありがとうございました。







「第16回けやき祭り」を開催しました

「けやき可児祭り」に続き、II月 12日に「けやき祭り」も昭和小学校 体育館にて開催致しました。

今回のけやき祭りから、ステージ の催し物を変更し、来場者の皆様も 一緒に楽しんで頂けるよう、抽選会 も企画致しました。

感染対策をきちんと行いつつ、皆様にけやき祭りを楽しんで頂けるよう、担当職員が色々と悩みながら工夫し開催当日を迎えました。

けやき祭り当日は、多治見市の古 川市長をはじめ、本当にたくさんの 方にご来場頂き、会場の床が見えな くなるほどの人の多さにびっくり て、職員同士、思わず顔を見合わせ ました。地域の皆様が「けやき祭 り」を覚えていて下さったことに安 堵し、感謝の思いで一杯です。





また、たくさんのお客様にご来場頂いたことで、ゲームのブースなど長時間お待たせし、ご迷惑をお掛けすることもありました。次回のけやき祭りは、今回の反省を活かし、より皆様が快適に楽しんで頂けるよう改善して参ります。

今年のけやき祭りのテーマは「コロナにまけるなぁ!!がんばろう」というテーマでした。そのテーマ通りコロナに負けず、賑やかに開催することができました。

会場となりました、昭和小学校・昭和幼稚園の皆様、平和中学校の皆様、平和町の地域の皆様、お忙しい中、足を運んでくださった来賓の皆様、本当にたくさんの方々にご協力いただき無事に開催できましたことを心より感謝致します。

次回、さらにグレードアップした けやき祭りをお楽しみに!







事業所紹介『ハミング

ことばとからだとこころの教室』

けやきだより39号にて開所のお知らせを致しました「ハミング ことばとからだとこころの教室」の紹介です。



「ハミング ことばとからだとこころの教室」ではお子様の年齢や発達に合わせて、様々なコースを準備しております。

「ことばのコース」では、言葉の 獲得だけでなく、読み書きや数の理 解など就学に向けた準備も行います。

「からだのコース」では、力加減 や姿勢保持、目と手の協調運動など 体全体や手先を使う活動を中心に療 育を行います。

「こころのコース」では、気持ち の伝え方など社会性やコミュニュ ケーションを中心に療育を行います。





子どもたちは、生きていくなかで様々な課題に直面します。たくさんの「やりたい!」や「できた!」を積み重ねて、自ら乗り越える力や自信の基礎作りをサポートしていきます。

見学・体験については、お気軽にお問い合せください。

ハミング

ことばとからだとこころの教室

新規問合せ:0572-29-1520

(ほっとスマイル)



QI・自己紹介をお願いします。

堀 和暉です。けやきのクリーニング班で仕事をしています。衣類の袋詰め、アイロンがけ、衣服のたたみ作業、各所の納品と施設外作業をしています。

Q2・絵を描き始めたきっかけはなん ですか?またどんな活動をしていま すか?

保育園の頃に人間じゃない動物やカービィなどを描いていました。保育園の頃からお化けが好きで、舌切り雀に出て来る妖怪が気になり、小学校高学年の頃は水木しげるさんの妖怪図鑑をよく見ていました。4年ほど前はみんなには見えていない妖怪が見えていました。

Q3・今後してみたいことを教えて下 さい。

インスタグラムに掲載して、英文 で紹介して、世界に知ってもらいた いです。

Q4・作品についてお話いただければ と思います。作成時の想いや作品に ついての説明でも結構です。

①百頭魚(ひゃくとうぎょ)

アールブリュット展に出して、絵の細かさに驚かれて嬉しかったです。 カメラマンさんに撮ってもらったり、 インタビューを受けてとても嬉し かったです。

けやき利用者 堀 和暉さん



② 眼神(がんじん)

百頭魚と一緒に賞を取れてうれしかったです。この眼神の下には和尚さんがたくさんいて、信仰している感じを出ました。仏教神話を勉強して自分で考えて新たに生み出した神様です。モデルは遊戯王に出て来る千眼の邪教神です。



③踊る化け物

中国地方に伝わる民話をもとに作成しました。化け物が出るという噂の古い寺に和尚さんが住み着き、歌に合わせて出て来る妖怪と楽しく踊る様子を想像して描きました。





じ いろいろ聞いてみました 職員インタビュー

QI. 今の仕事を選んだきっかけを教えて下さい。

通っていた短大が福祉系の学校でした。それまでは「福祉とはなんぞや」という状態で過ごしていましたが、学生時代に少しずつ福祉や障がいについて学んだことで、障がいを持つ人に関わった仕事がしてみたいという漠然としたものでした。

小学校、中学校時代に知的障がい を持つ同級生の友人がおり、そのこ ろは障がいについてなにも分かって いませんでしたが、その友人とよく 関わっていたことや、体育祭や修学 旅行などの行事を一緒に楽しんでい たことも影響しているかもしれませ ん。

Q2・この仕事の面白さ・醍醐味はなんだと思いますか?

利用者のみなさんの成長のシーンに立ち会えること、そこに少しでも関わることができることだと思います。

利用者さんと一緒に悩み、あれこれ試して、うまくいったときの達成感やできた気持ちの共有は、その過程にあった大変さを吹き飛ばしてくれるほどです。やはりそこが醍醐味ではないかと思います。

Q3・仕事をする上で最も重要だと 思っていること、日頃から心がけて いることはなんですか?

利用者さんの話をよく聴くことを心掛けています。日々の雑談から、

けやき サービス管理責任者 小栗 正嗣さん



利用者さんと(向かって右側が小栗さん)

悩み事であったり、将来の希望であったり、利用者さんの気持ちを取りこぼしてしまうと、利用者さん主体の支援ができません。

早瀬理事長から教えていただいたように、目と耳と心を十分に傾けて『聴く』ことを意識しています。利用者さんが、話を聞いてもらえて良かったと少しでも感じて頂けるように努力しています。

Q4・これから障がい福祉で働く方へ メッセージをお願いします。

利用者のみなさんは個性的な方が 多くて、日々新鮮な体験にあふれて います。

時にはその体験が苦い物になる時もありましたが、いつの間にかその苦しさもひっくるめて楽しい思い出に変わっているのが現状です。

利用者さんと関わることで得られるこの楽しさや達成感をぜひ味わって頂きたいです。それを感じたときには、もう私たちは同志になっていると思います。新しい仲間を是非お待ちしています。





公益財団法人みずほ教育福祉財団様から 電気自動車「コムス」の贈呈を受けました

9月に配食用小型電気自動車「みずほ号」の贈呈式を開催致しました。

「みずほ号」は公益財団法人みず ほ教育福祉財団様が、高齢者を対象 とした福祉活動を支援するため、み ずほフィナンシャルグループ役職員 の皆様からの募金を主な原資として 高齢者向けに配食サービスを行って いる民間団体に対し、寄贈を行って いらっしゃる事業の配食用小型電気 自動車です。



贈呈式では、公益財団法人みずほ 教育福祉財団福祉事業部長林様より 目録の贈呈を頂きました。

全国で14台の贈呈台数であったというお話をお伺いし、「毎日お仕事を頑張って下さっているみなさんで大切に使って下さい。」というメッセージを頂きました。贈呈式に参加した利用者の皆様も、林様のお話に大きくうなずいていました。



社会福祉法人みらいは「けやき」と「けやき可児」の2つの事業所で配食サービスを実施しています。また、多治見市の見守りサービスの一環として、弁当配達の際にご注文者様の安否確認も行っています。



贈呈頂きました「みずほ号」は今 後、弁当配達車として大切に使用さ せて頂きます。

誠にありがとうございました。

また、配食サービスにつきまして、 弁当注文を利用したい、価格につい て知りたい、会社で定数を注文した い等のご希望がございましたら、下 記連絡先までお気軽にお問合せ下さ い。

けやき:0572-22-1011 けやき可児:0574-66-1021







寄付等頂いた皆様の紹介

寄付を頂いた方

(株)吉川組水野・森本法律事務所何丸元コンフォート(株)能谷設計(株)セクテック谷 敏佐々木陶器(株)第十一区区長水野竹夫

大嶽肇

ボランティアをして頂いた方

笠瀬 美里林 冬美 松原 由奈

(順不同、敬称略)





Ö

私たちと一緒に働きませんか?

社会福祉法人みらいの職員として私たちと一緒に働きませんか?

法人理念に賛同された方、経験はないけれど福祉の仕事をしてみたい方、人と関わるのが好きな方、障がい福祉の分野を追求したい方、自分の特技を活かしたい方、就活中の学生の方、どうぞお気軽に法人みらい事務局までお問合せ下さい。法人ホームページにも採用情報を掲載しております。

また、当法人はダイバーシティ採用にも取り組んでいます。他業種や他分野からの応募をご検討中の方も是非一度ご相談下さい。皆様からのご連絡、お待ち致しております。



編集後記

再び紙面デザインをリニューアル致しました「けやきだより」です。2023年も始まり、まだまだ寒い日が続きますね。2022年はコロナで自粛していた活動を少しずつ再開し、法人にとって賑やかな年となりました。今年も皆様にとっても、社会福祉法人みらいにとっても良い年でありますように。

社会福祉法人みらい けやきだより第40号

発行日 2023年1月 発行者 社会福祉法人みらい事務局 〒507-0827岐阜県多治見市平和町6-364 TEL 0572(22)1011



法人ホームページはこちらから

